

令和 6 年度

大阪大学

一般選抜（前期日程）

解答例又は出題の意図

英語 F

令和 6 年度英語 F 出題の意図

I

(A)

生命体を取りまく地球環境の変化を素材にした論説文の一節を取りあげ、指定された箇所の意味を的確に把握し、日本語で表現する力をみる。強調構文など文構造を正確につかんでいるか、embodiment や「the + 形容詞」などの表現が日本語で的確に表せているかがポイントになる。

(B)

芸術家（美術家）の創作活動に対する考え方を素材にした論説文の一節を取りあげ、指定された箇所の日本語への訳出を通してその意味が的確に把握できているのかを確認する。命令形で始まる構文を理解する力、compulsion ならびに aspiring の語義や one が指すものなどを文脈から推測する力が求められる。

II

「人には過度に規範意識を強制されると反発する心理的傾向がある」ことをテーマとする相当な長さの英文を読み、その内容や要点を明確に読み取り理解できているかどうかを問う問題である。高等学校で学んだ英語の基礎的な知識を踏まえたうえで、ある程度の長さの専門的な話題の理解へとつながられるかが問われる。単純に単語や表現を日本語に表面的に置き換えるのではなく、その英文の意図するところを、前後の文脈もあわせて総合的に推測し理解できているかがポイントになる。

III

大学において自分が理想とする学びとはどういうものかについて、指定された語数の英語で自分の考えを述べる問題である。語彙力、構文力に加えて、自らの考えを論理的に構成された英文で明瞭に書く力を評価する。

IV

「絵本のもつ力」について書かれたこなれた日本語を、表現方法（語彙力を含む）、文法的正確性、英語らしさ、全体の構成などに注意を払いながら、柔軟かつわかりやすく英語で置き換えて表現する能力が必要とされる。逐次的な訳ではなく、文脈を考慮して自然な英語表現を用いることができるかも問われる。普段から英語学習において、日常的なことがらについて、上記のポイントを押さえた上で実際に英文を書いたり発信したりする訓練を十分に行っていることが重要である。

V

「古代から現代にわたる、時を計る装置の歴史的発展とその役割の変容」についての 500 語程度の英文を聞き、その内容や情報、要点（装置の仕組みやそのプロセスに関わるキーワードなど）を順を追って理解できているかどうかを問う問題である。設問で問われている部分の情報を正確に聞き取り、要点を的確にまとめる能力が求められる。普段から英語学習において、ある程度の長さの平易な英語の音声に親しみ、そのまま英語で理解する訓練を十分に行っていることが重要である。